

<様式2>

畜産試験場試験・研究課題事前評価表

畜産試験場課題評価委員会

試験・研究課題名：

大課題名： 飼料費高騰に対応した飼料給与体系の確立

小課題名： 初期栄養の改善による肉用鶏の生産性向上技術の確立

細目課題名：

担当者名：

評価項目	評価点	指摘事項
1 課題設定の必要性 (背景、社会的ニーズ)	5 / 5	肉用鶏の飼料要求率の改善が進まなくなっている中で飼料費が高騰したため、要求率改善の社会的ニーズは高い。
2 課題の新規性、独創性	5 / 5	これまでにはなかった孵化直後の初期栄養という新たな考え方であり、新規性、独創性は高い。
3 目的・内容の整合性、 妥当性	5 / 5	これまでの県での研究成果も元になっており、また関連研究の研究者とも連携するなど、研究内容は妥当である。
4 研究手法の的確性、 技術的可能性	4 / 5	期間に比べ研究項目が多いので、結果の分析が十分にできる実験計画にする必要がある。
5 成果の期待度	5 / 5	新しい考え方で取り組む研究で、その成果に期待するところは大きい。研究論文としても期待される内容である。
総合評価	5 / 5	新規性が高く成果の期待度も高い。実験計画を十分に検討し成果が出るよう工夫する必要があるが、成果によっては研究論文としても高く評価される内容であることから、総合評価は高い。

「注」 評価点の目安

評価	高い	やや高い	普通	やや低い	低い
点数	5	4	3	2	1

試験研究機関の処置

農家の飼料費高騰問題に速やかに対応できるよう、実験計画の再検討を行い21年度からの課題化に取り組みます。

<様式2>

畜産試験場試験・研究課題事前評価表

畜産試験場課題評価委員会

試験・研究課題名：

大課題名： 飼料費高騰に対応した飼料給与体系の確立

小課題名： エコフィードを活用した豚肉生産技術の確立

細目課題名：

担当者名：

評価項目	評価点	指摘事項
1 課題設定の必要性 (背景、社会的ニーズ)	5 / 5	県内で生産されるエコフィードの利用推進に資する研究ということで行政及び社会的ニーズは高い。
2 課題の新規性、独創性	4 / 5	エコフィードの内容や利用は異なるがすでに先行的な研究例がある。
3 目的・内容の整合性、 妥当性	5 / 5	既報のエコフィードと原料が異なるため、特に栄養価値や利用法の研究が必要であり、研究内容は妥当と評価。
4 研究手法の的確性、 技術的可能性	5 / 5	期間は短い成分分析を事前に行い短期の試験に絞ることで目標達成の可能性は高い。なお給餌器の検討は必要。また可能ならば経済性については長期給与試験の方がよりよい。
5 成果の期待度	5 / 5	県の事業と平行しており、早い成果が求められており、期待度は高い
総合評価	5 / 5	課題の新規性、独創性については高くないが、社会的ニーズが高く、また成果の期待度が高いことから、研究として重要と評価。

「注」 評価点の目安

評価	高い	やや高い	普通	やや低い	低い
点数	5	4	3	2	1

試験研究機関の処置

養豚農家の飼料費削減に資するよう、利用法の研究・給餌機の検討を含め県の施策展開と歩調を合わせ研究を推進します。

